

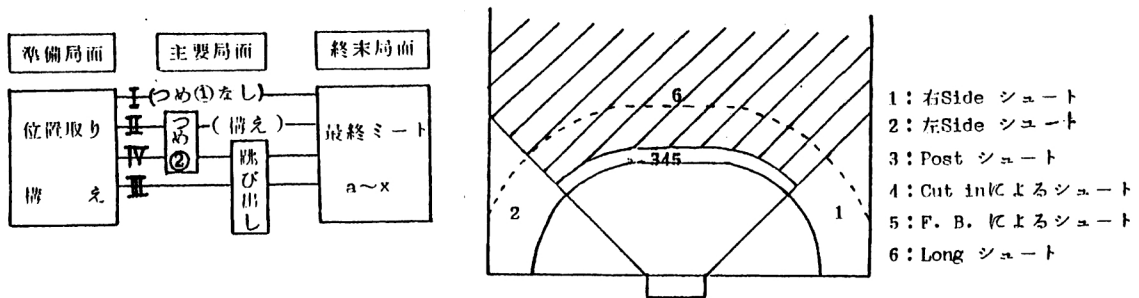
1. 目的

ゴール・キーパー（以下G・Kとする）の主たる役割は、シュートを阻止することであるが、どのような型で阻止するかは明らかにされていない。本研究では、G・Kのシュート阻止動作の型が、実際のゲーム場面において、どのような割合で表われるかを調査し、その実態を明らかにし、G・Kの指導に役立てようとするものである。

2. 方法

昭和57年度春季及び秋季関東学生リーグ戦、東日本、全日本学生選手権大会における、男女各13試合を対象とした。

G・Kのシュート阻止動作を三つの局面に分け、さらに主要局面をつめ①の有無、つめ方により、I型（つめ①なし）、II型（つめ②）、III型（跳び出し）、IV型（つめ②+跳び出し）に、終末局面をa~x型とし、両局面の観点から、各シュートに対するG・Kのシュート阻止動作のタイプを分類した。



G・Kのシュート阻止動作のタイプ シュートの分類

つめ①・・・G・Kがシューターとの距離を縮めること。方法の違い

により、つめ②と跳び出しとする。

つめ②・・・ステップにより、距離を縮めてから、ミートへ移る。

跳び出し・・・多くはジャンプにより、距離を縮めながらミートする。

3. 結果と考察

図 1 主要局面における各型の出現率

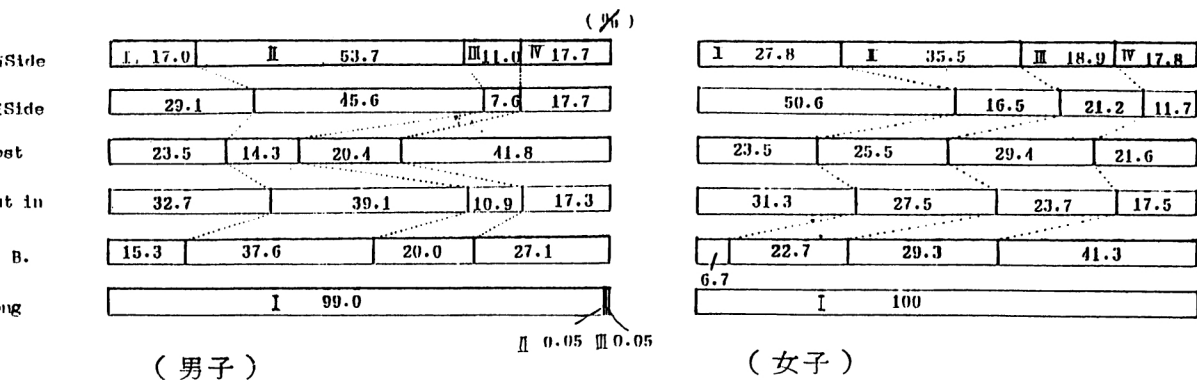


図 2 主要局面の各型におけるシュート成功率

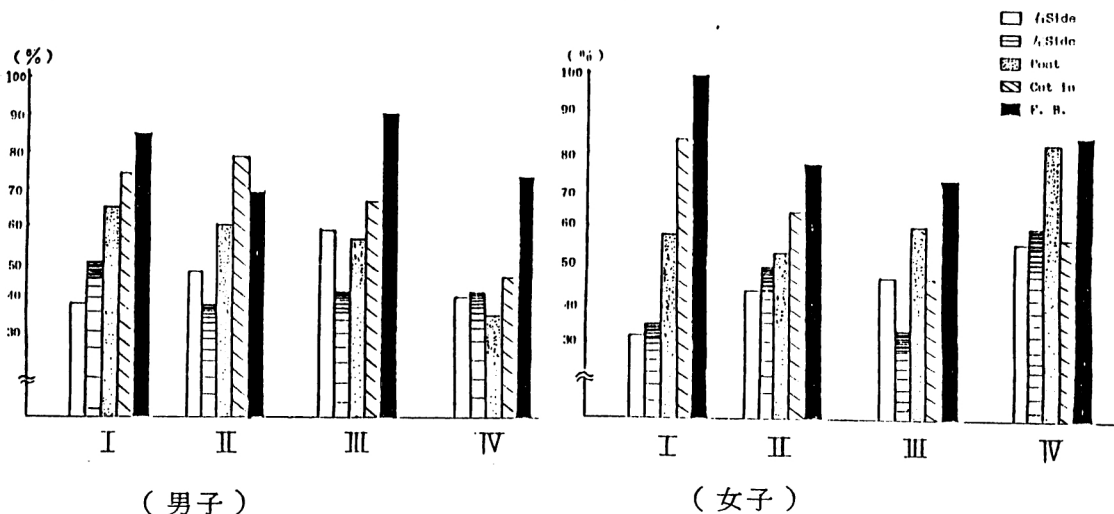


表 1 終末局面における各型の出現数

	1	2	3	4	5	
f:Side	147 (78)	48 (30)	19 (12)	18 (10)	15 (5)	17 (4)
l:Side	79 (45)	20 (13)	16 (3)	9 (6)	9 (7)	6 (5)
Post	98 (48)	19 (10)	18 (11)	12 (5)	10 (0)	9 (6)
Cut In	110 (32)	26 (4)	15 (3)	14 (1)	12 (4)	6 (5)
P. B.	85 (20)	22 (7)	22 (4)	14 (2)	12 (3)	3 (1)
Long	394 (252)	59 (29)	46 (22)	36 (25)	34 (27)	33 (19)

	1	2	3	4	5	
f:Side	90 (51)	22 (18)	18 (6)	8 (7)	8 (3)	7 (6)
l:Side	85 (51)	28 (25)	7 (4)	7 (7)	6 (6)	5 (5)
Post	51 (19)	13 (4)	11 (2)	6 (2)	4 (4)	4 (1)
Cut In	80 (28)	17 (9)	14 (7)	12 (2)	10 (2)	7 (3)
P. B.	75 (15)	25 (2)	22 (5)	10 (2)	5 (2)	5 (1)
Long	379 (30)	111 (91)	66 (57)	33 (25)	33 (26)	30 (26)

()内はシュート阻止数+パー外数

(男子)

(女子)

表 2 主要、終末局面における各型の出現数

	1	2	3	4	5
右Side	II-m 23	II-l/8	I-m/4	II-p/3	II-n/1
左Side	II-n/2	I-m 9	II-m 8	IV-t 8	I-h 4
Post	IV-u/7	IV-q/2	III-g 7	II-k 6	I-i 5
Cut in	I-x/3	II-x/3	II-k/0	I-h 8	IV-u 8
F. B	II-x/5	III-g/2	II-k/0	IV-u/0	IV-q 8
Long	I-h 59	I-b 46	I-g 36	I-j 34	I-o 33

(男子)

	1	2	3	4	5
右Side	II-n/1	I-m 9	II-m 9	II-n 7	IV-q 5
左Side	I-m/5	II-m 8	I-a 6	I-j 6	I-p 5
Post	IV-q 8	II-j 6	II-h 5	I-g 4	I-j 4
Cut in	III-q/2	I-j 9	II-k 6	II-x 6	IV-q 5
F. B	IV-u/6	IV-q/3	II-x 7	III-u 7	II-w 3
Long	I-v/11	I-e 66	I-o 33	I-j 33	I-e 30

(女子)

表 3 シュート阻止動作のタイプとシュート阻止率
(終末局面が同一の場合)

	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)	
I > m	6	0	2	14	57.1	右Side
II > m	10	0	4	23	56.5	右Side
III > m	5	3	1	9	44.4	左Side
IV > q	2	4	2	8	75.0	左Side
I > q	4	2	1	7	42.9	Post
II > q	5	3	4	12	58.3	Post
I > x	12	1	0	13	0.0	Cut in
II > x	10	3	0	13	23.1	Cut in
I > u	9	4	2	15	40.0	F. B.
II > u	7	3	0	10	30.0	F. B.

(男子)

	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)	
I > m	3	2	4	9	66.7	右Side
II > m	5	2	2	9	44.4	右Side
I > q	0	8	1	15	60.0	左Side
II > q	4	3	1	8	50.0	左Side
I > j	4	0	0	4	3.3	Post
II > j	3	3	0	6	50.0	Post
III > q	6	3	3	12	50.0	Cut in
IV > q	2	3	0	5	60.0	Cut in
I > u	6	0	1	7	14.9	F. B.
II > u	15	1	0	13	3.3	F. B.

(女子)

$$\text{阻止率} = \frac{\text{G・K阻止数} + \text{パー外数}}{\text{シュート総数(計)}} \times 100 (\%)$$

表 4 シュート阻止動作のタイプとシュート阻止率
(主要局面が同一の場合)

	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)	
II < m	10	9	4	23	56.5	右Side
III < m	8	2	1	11	27.3	右Side
II < n	2	4	2	8	75.0	左Side
III < n	4	7	1	12	66.7	左Side
IV < q	6	10	1	17	64.7	Post
III < q	5	3	4	12	58.3	Post
II < x	10	3	0	13	23.1	Cut in
III < x	9	1	0	10	10.0	Cut in
II < u	9	4	2	15	40.0	F. B.
III < u	8	2	0	10	20.0	F. B.

	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)	
II < m	5	2	2	9	44.4	右Side
III < m	8	1	2	11	27.3	右Side
I < a	2	4	0	6	66.7	左Side
II < a	6	8	1	15	60.0	左Side
II < h	3	2	0	5	40.0	Post
III < h	4	0	0	4	0.0	Post
II < k	5	0	1	6	16.7	Cut in
III < k	4	1	1	6	33.3	Cut in
IV < q	10	3	0	13	23.0	F. B.
III < u	15	1	0	16	6.3	F. B.

表 5 シュート阻止動作のタイプとシュート阻止率
(シュートが違う場合)

	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)
右Side > I-m	6	6	2	14	57.1
左Side > I-m	5	3	1	9	44.4
右Side > II-m	10	9	4	23	56.5
左Side > II-m	2	4	2	8	75.1
右Side > II-n	8	2	1	11	27.3
左Side > II-n	4	7	1	12	66.7
Post > III-q	4	2	1	7	42.0
F. B. > III-q	11	1	0	12	0.8
Post > IV-q	5	3	4	12	58.3
F. B. > IV-q	6	2	0	8	25.0
Post > IV-u	6	10	1	17	64.7
Cut in > IV-u	3	3	2	8	62.5
F. B. > IV-u	7	3	0	10	30.0

(男子)

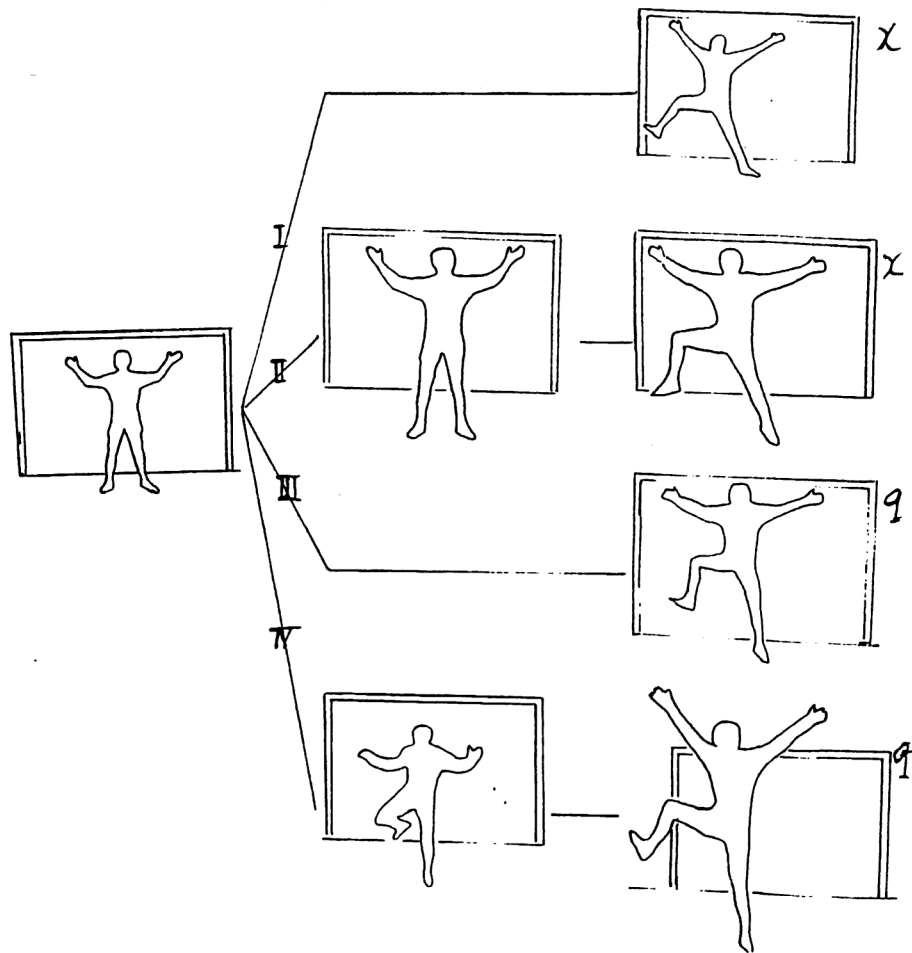
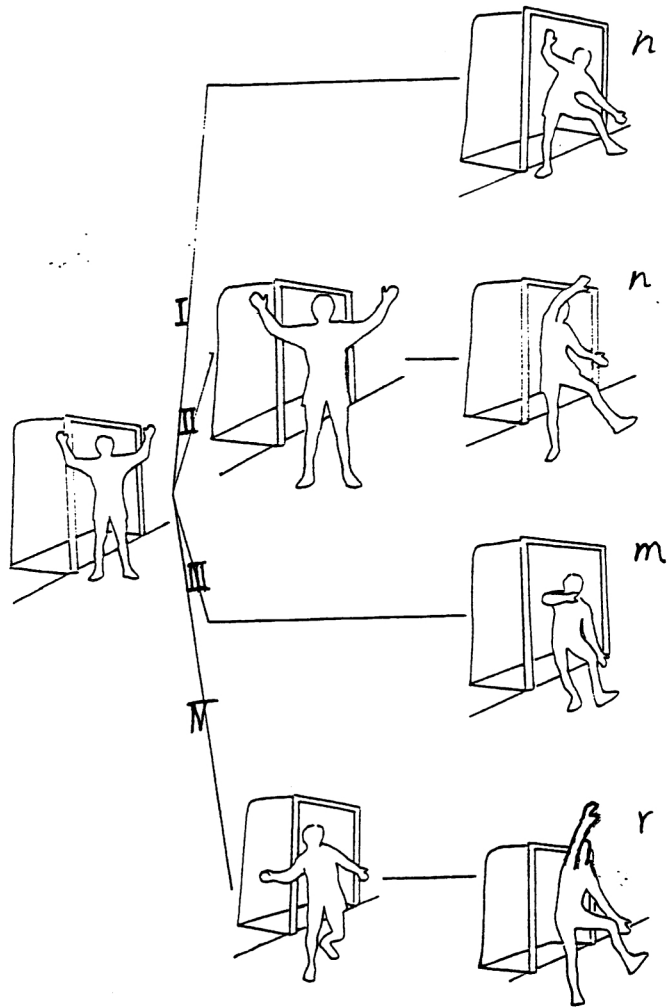
	インゴール	G・K阻止	パー外	計	阻止率(%)
右Side > I-m	3	2	4	9	66.7
左Side > I-m	6	8	1	15	60.0
右Side > II-m	5	2	2	9	44.4
左Side > II-m	4	3	1	8	50.0
Cut in > IV-u	3	2	0	5	40.0
F. B. > IV-u	15	1	0	16	6.3
Post > IV-q	7	0	1	8	12.5
Cut in > IV-q	2	3	0	5	60.0
F. B. > IV-q	10	3	0	13	23.0

(女子)

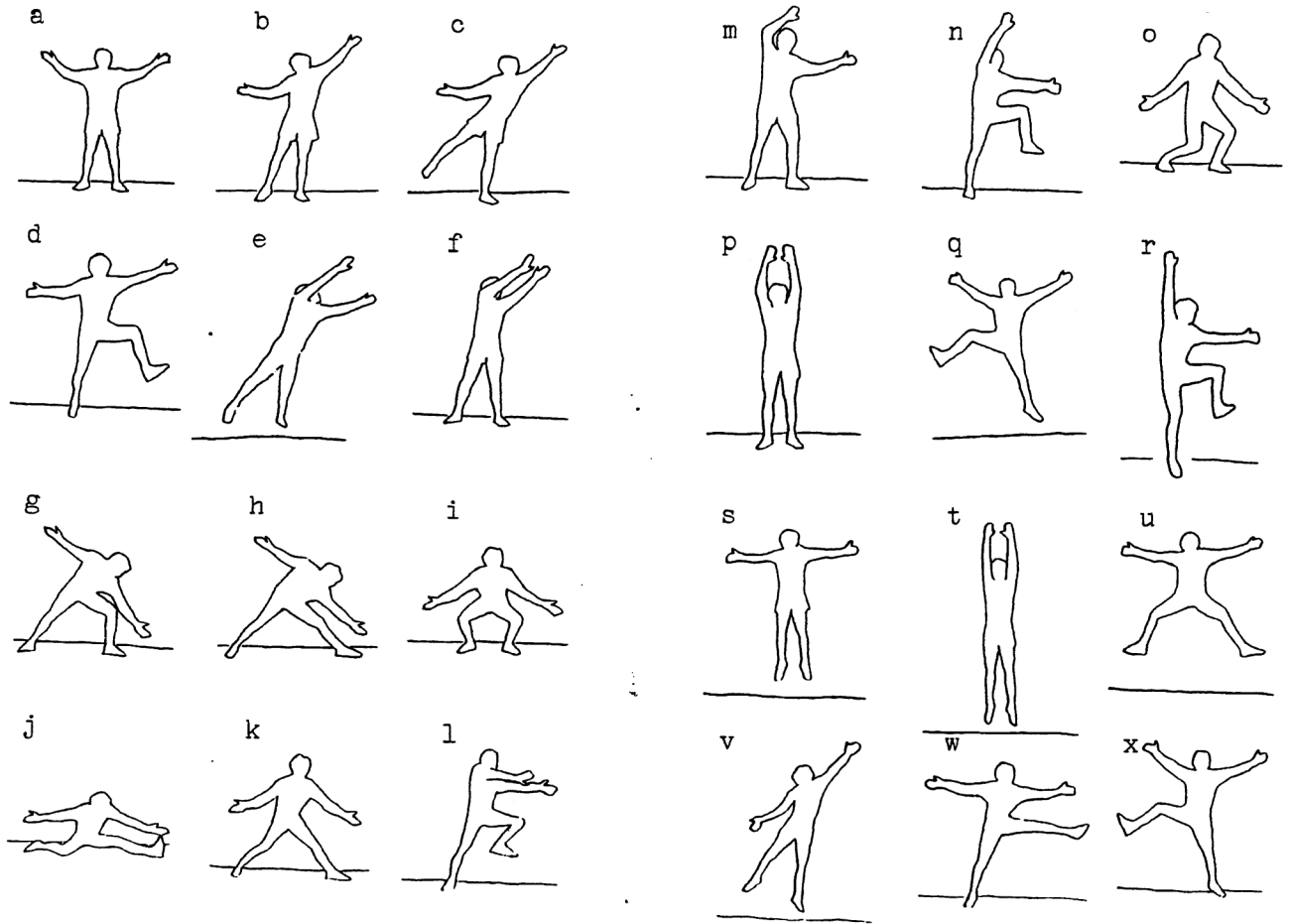
1. 主要局面においては、全体的に見て、男子では 型型の出現が多く、女子では各型がほぼ平均しており、シュートの成功率は、男子では 型、女子では 型時に低い。
2. 終末局面においては、両Sideシュートに対してはm型、n型が、Post、Cut in、F. B. によるシュートに対しては k型、q型、u型、x型を示すひん度が高い。
3. 他方の局面の型が異なれば、シュート阻止率も異なる。

4. 結論

1. シュート阻止 動作における各局面の型は、シュートゾーンやシュターの状態に応じて、使い分けられている。
2. シュート阻止動作のタイプの違いによって、シュート阻止率が異なる。
3. シュート阻止動作のタイプの出現は、男子、女子の G・Kによって異なる。



シュート阻止動作のタイプ



終末局面における 型 の分類